

事務事業名 平等寺地区環境調査事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：1946

施策：	24	快適な生活環境の促進	財務コード	--
基本事業：	03	生活環境に関する害の減少	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	苦情及び相談件数（騒音・振動、悪臭） 苦情及び相談件数（草木の繁茂等）		担当課	環境課
			担当係	



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成13年度 ~		新規・継続	継続	会計区分		実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
市民			3年に1度、平等寺地区の産業廃棄物処分場周辺の水質調査、底質調査、底生物調査を行う。							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
産業廃棄物処分場から場外への汚染水の流出及び山神ダムへの流入がないか監視し、生活環境を保全する。										
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	03年度 実績	04年度 実績	05年度 当初	06年度 要求	07年度 計画	08年度 計画	目標	
「人の健康の保護に関する環境基準」を超えた地点の数		箇所		0						
「土壌の汚染に係る環境基準」を超えた地点の数		箇所		0						
5. コスト										
事業費		計	千円	4,840						
		国	千円	0						
		県	千円	1,522						
		地方債	千円	0						
		その他 一般	千円	3,318						
正職員人工数		人工		0.3						
正職員人件費		千円		2,318						
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円		7,158						
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		<p>< 状況 > 前回の調査に引き続き、「人の健康の保護に関する環境基準」と「土壌の汚染に係る環境基準」を超過した調査地点はなかった。</p> <p>< 課題 > 調査地点R-2では、他の地点よりも調査結果に変動があり、過去に基準値を超過したこともあるため、今後も監視が必要と考える。</p>								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	あり							
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし							
成果向上余地	小さい									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）										
備考・特記事項 or 進行管理欄										